

授業のすきま時間に **データサイエンス多目的ホール**を活用しよう!

理学部棟2号館5階511教室 / 開室時間：平日9時～17時 (※大学休業日を除く)

開放的な室内は、個人学習やグループワーク、ゼミなどの研究活動や模擬プレゼンテーション等、それぞれの学習目的に合わせて、リラックスしながらも学習に集中できる環境となっています。本学の学生であれば、誰でも自由に利用することができます。

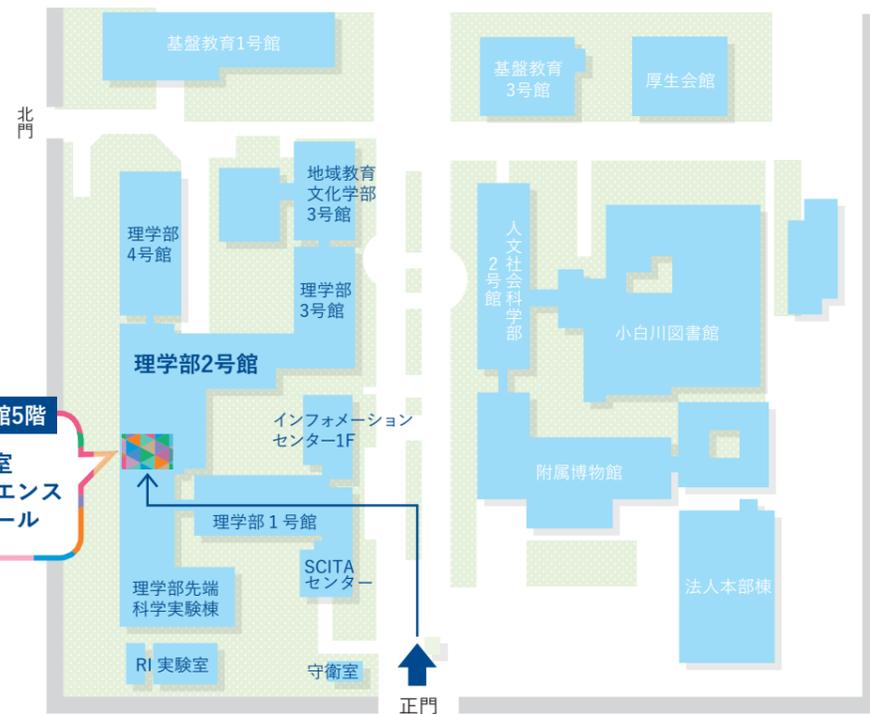
- PCの使用(Wi-Fi完備)
- 学生同士のグループワーク
- データサイエンス関連書籍の閲覧
- オンラインミーティング
- ゼミ、研究カンファレンス会場として利用
- サークル活動の場として利用

利用予約
はこちら



カフェスペース イベントスペース PCスペース ミーティングスペース 書籍コーナー

ACCESS MAP



理学部2号館5階
511教室
データサイエンス
多目的ホール



〒990-8560 山形県山形市小白町1-4-12
TEL: 023-628-4977
E-mail: yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
HP: <https://www.yamagata-univ-derp.org/>

山形大学データサイエンス教育研究推進センター
(理学部棟2号館511教室データサイエンス多目的ホール)



センターHP



Twitter

令和5年度

山形大学

YAMAGATA UNIVERSITY

データサイエンス

MATHEMATICS DATA SCIENCE ARTIFICIAL INTELLIGENCE

教育プログラム



MATHEMATICS



DATA SCIENCE



ARTIFICIAL INTELLIGENCE

データサイエンスマイスターを目指そう!

本制度は、本学が定めるデータサイエンス関連の認定科目を習得した学生を「データサイエンスマイスター」として認定するものです。認定基準は、ベーシック(リテラシーレベル)、アドバンス(応用基礎レベル)の2段階を設置しました。これからの社会に必要なデータ活用のスキルを基礎から身につけましょう。



「認定証書」の希望者はセンターHPから申請してください。認定要件を満たしていることを確認後、「認定証書」(ベーシック/アドバンス認定証)を発行します(成績証明書には記載されません)。



→詳細はこちら

基礎が身についたら次のステップへGO!

対象:全学部

AI・データサイエンス要論(データサイエンス(応用))

- 基盤共通教育共通科目(情報科学)
- 開講時期:後期 ■ 2単位

AI・データサイエンスの知識を様々な専門分野へ応用し(AI×専門分野)、現実の課題解決、価値創造を行う上で必要な知識を習得。

キーワード: アルゴリズム、数学、統計学、機械学習、Python

講義紹介動画



学部専門科目



対象:人文社会科学部・地域教育文化学部・医学部・工学部・農学部

データ解析基礎(データサイエンス(基礎))

- 基盤共通教育共通科目(情報科学)
- 開講時期:前期 ■ 2単位

現代社会を理解する上で必要不可欠なデジタルデータの扱い方、データ解析を行う上で必要となるデータの基本的な処理方法と表現方法を習得。

キーワード: 質・量的データ、平均、ばらつき、分布図、時系列データ

講義紹介動画



対象:理学部

データサイエンスI(数理科学)

- 基盤共通教育共通科目(サイエンススキル)
- 開講時期:前期 ■ 2単位

科学や実社会の多くの場面で、データを用いた客観的・論理的なエビデンスに基づく仮説構築や意思決定を行う際の基礎となる幅広い知識を習得。

キーワード: アルゴリズム、機械学習、自然言語処理、バイオインフォマティクス、データ倫理

情報処理

推奨科目

- 基盤共通教育共通科目 ■ 開講時期:前期 ■ 2単位

コンピュータを利用する上での情報の正しい取り扱いを理解、大学での勉学・研究活動に必要なソフトでドキュメントの作成を可能に!

専門教育・研究、論文

リテラシー、応用基礎のスキルを基盤に、自分の専門分野や興味のある科目を履修し、データを活用した課題解決、研究に活かす。

*分野を超えた学部間、企業連携による研究事例も数多くあります

専門課程
SPECIALIZED COURSES

STEP
03

応用基礎
APPLIED FUNDAMENTALS

DATA SCIENCE
MEISTER
アドバンス
認定
ADVANCED

STEP
02

リテラシー
LITERACY

DATA SCIENCE
MEISTER
ベーシック
認定
BASIC

STEP
01

QUESTION なぜ今、大学でデータサイエンスを学ぶの?

ANSWER これからのデジタル社会で生きる新たなスキル

現在、私たちは、インターネットを介してあらゆるデータを手に入れ、そこから様々な情報を得ることができますが、それは本当に正しい情報であるといえるでしょうか。

たとえば、データの見せ方ひとつで相手に与える印象が変わったり、適切ではないデータ表現によって誤った情報を与えてしまうリスクがあります。

データに騙されないためにもデータリテラシーを持ち、データを正しく読み解き、表現するスキルを身につけることが大切です。

不確実性の時代において、データ活用によって実社会の課題を解決へと導き、新たな価値をつくるチカラを持った人材が、社会全体で求められています。

データサイエンスの知識は、産業分野、業種や職種に関係なく、幅広い領域で活用されるものです。

これからの社会をけん引する大学生の皆さんにとって必要不可欠なスキルとなるでしょう。



見て・聴いて・体験する、もっと楽しくなるデータサイエンス!

DataScience Café(データサイエンスカフェ)



データサイエンスに関連するテーマで、学内外のプレゼンターによるミニプレゼンテーションを開催します。本学の学生、教職員と企業や地域の方が集まり、データサイエンスを介して参加者同士がつながるコミュニティの場にもなっています。

DSSS(データサイエンススタディセッション)



地域企業の社会人と学生が、データ活用による課題解決に取り組みます。参加者は複数回の学習プログラムに沿って、基礎からデータ活用の手法を学び、グループワークによる議論を重ねながら、課題解決までのプロセスを体験します。最終回では学生から社会人にプレゼンテーションをします。

3Dプリンター体験



3Dプリンター2台、3Dスキャナー1台を完備しています。操作方法の動画、マニュアルとサンプルデータを用意していますので、初心者も簡単に作品を作ることができます。3Dモデリングに挑戦して、研究で使う材料やオリジナル作品を作成したい方は是非、ご利用ください。

ワークステーション・PC貸出



ワークステーションを設置しており、予約いただいた方に貸出しています。機械学習、ディープラーニングに取り組みたい方におすすめです。ほか、WindowsノートPC、iPadの貸出しも行っていきます。